

教材 5-B-(6) の解答 計算のきまり

① 『 $104 \times 25 = (\square + 4) \times 25$
 $= \square \times 25 + 4 \times 25$
 $= 2600$ 』の解決のために

ポイント 1

$104 \times 25 = (\square + 4) \times 25$ の式を次のように書きかえてみましょう。

104×25
 $= (\square + 4) \times 25$

たてにならべてみると…

すると、**104** と **(□ + 4)** が同じ (**等しい**) ことに気がきますね。

つまり、**104 = □ + 4** となり □には、**100** があてはまります。

ポイント 2

- ア $(\square + \bigcirc) \times \triangle = \square \times \triangle + \bigcirc \times \triangle$
- イ $(\square - \bigcirc) \times \triangle = \square \times \triangle - \bigcirc \times \triangle$

このような計算のきまりを
分配 法則といいます。

この問題はアの計算のきまりを使っています

この問題では、 $(\square + 4) \times 25 = \square \times 25 + 4 \times 25$ にこの計算のきまりを使うと
かんたんに計算をすることができます。どうしてでしょうか？

それは、 $\square \times 25$ と 4×25 を別々に計算して足した方が計算が簡単だからです。

たしかめよう

次の□に当てはまる数を書きましょう。ただし、2つの□には同じ数が入ります。

(1) $99 \times 23 = (\square - 1) \times 23$
 $= \square \times 23 - 1 \times 23$
 $= 2277$

(2) $103 \times 35 = (100 + \square) \times 35$
 $= 100 \times 35 + \square \times 35$
 $= 3605$

【答え】 **100**

【答え】 **3**

□ 年 □ 組 □ 番 名前 □

チャレンジ

次の式をくふうして計算しなさい。

$$\begin{aligned}(1) \quad 98 \times 24 &= (100 - 2) \times 24 \\ &= 100 \times 24 - 2 \times 24 \\ &= 2400 - 48 \\ &= 2352\end{aligned}$$

$$\begin{aligned}(2) \quad 103 \times 11 &= (100 + 3) \times 11 \\ &= 100 \times 11 + 3 \times 11 \\ &= 1100 + 33 \\ &= 1133\end{aligned}$$

$$\begin{aligned}(3) \quad 99 \times 99 &= (100 - 1) \times 99 \\ &= 100 \times 99 - 1 \times 99 \\ &= 9900 - 99 \\ &= 9801\end{aligned}$$

$$\begin{aligned}(4) \quad 16 \times 3 + 34 \times 3 &= (16 + 34) \times 3 \\ &= 50 \times 3 \\ &= 150\end{aligned}$$

$$\begin{aligned}(5) \quad 15 \times 9 - 5 \times 9 &= (15 - 5) \times 9 \\ &= 10 \times 9 \\ &= 90\end{aligned}$$

(4), (5)の問題は、
分配法則を逆に使うとよいことに
気づきましたか？